

連絡した人のプライバシーは守られます

児童虐待に関する相談はこちらへ

- こども救援センター (24時間 ☎ 321-1318)
- 西部児童相談所 (☎ 322-2498)
- 児童相談所全国共通ダイヤル (24時間 ☎ 189) いちばやく
住んでいる地域の児童相談所につながります

あなたの電話が救いの手に

児童虐待の相談件数は、年々増加しています。昨年度の本県の相談件数は1799件で、5年前の約1.9倍。虐待は家庭で起こることが多く外から見えにくいいため、発見が遅れてしまうことがあります。親はしつけのつもりでも、暴力や暴言は虐待です。ひどい泣き声や怒鳴り声がかえり、不自然な傷や打撲の痕があるなど、虐待かもしれないと感じたら、迷わず上記の相談窓口へ連絡してください。

虐待をいち早く発見するには、地域の皆さんの協力が必要です。市は、昨年10月に市

役所4階に「こども救援センター」を開設。児童虐待についての連絡や相談を24時間受け付けています。虐待の相談だけでなく、子育ての悩みなどどう接したらいいかわからない「イライラしてつい手が出てしまった」など、一人で悩まずいつでも相談してください。適切な支援を行ったり、市の子育てサービスを紹介したりします。

オレンジリボンキャンペーン

市は、児童虐待防止推進月間に合わせ、高崎オーパの大型ビジョンで映像の放映を行うなど、児童虐待防止を呼びかけます。

11月は児童虐待防止推進月間です

あなたの連絡が子どもを虐待から守ります

児童虐待は、子どもの心身を傷つけるだけでなく、命に関わることもあります。地域に住む私たちが虐待に気づき、行動することが大切です。問い合わせは、こども救援センター (☎ 321-1318) へ。

オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています



これからのまちづくりに生かす資料です

市民の声アンケートにご協力を

市は、市民の意見や要望をこれからのまちづくりに役立てるため「市民の声アンケート」を実施します。昭和47年に始まったこのアンケートは、2年に1度実施され、今年で21回目となります。

問い合わせは、広報広聴課 (☎ 321-1205) へ。

11月上旬に6,000人に発送します

調査事項は、市政全般にわたる継続的な質問を中心に「観光振興」「防災」などに関する質問です。調査結果は、住みよいまちづくりを進めるための基礎資料として活用し、これからの行政運営に生かします。趣旨を理解していただき、回答してください。

対象は、本市に1年以上住民登録のある18歳以上の人で、無作為に抽出した6,000人です。11月上旬にアンケート用紙を発送。回答を記入した後、同封の返信用封筒に入れ、11月24日(火)までに投かんしてください。切手は不要です。無記名のアンケートなので、用紙や封筒に住所・氏名を書く必要はありません。

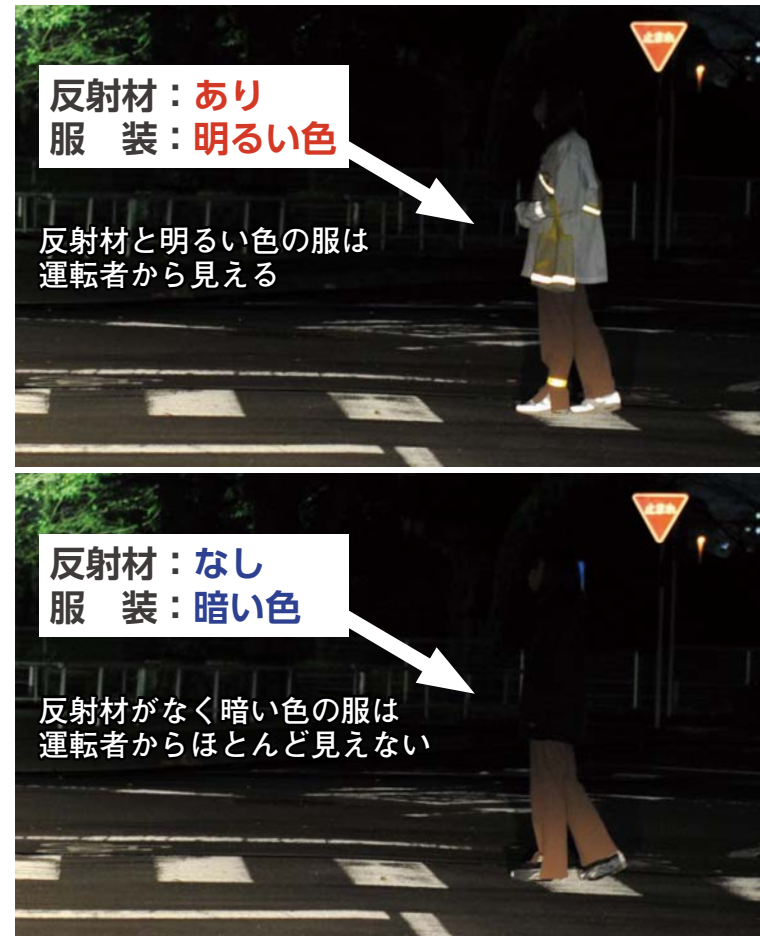


返信用封筒に入れ
そのまま投かん

夕暮れ時・夜間の交通死亡事故が発生しています

夜間の交通事故を防ぐために 反射材や上向きライトの活用を

これから年末にかけては、一年で最も交通事故が多い時期です。死亡事故の多くは、夕暮れ時や夜間に起きています。今回号では、反射材の有無や服の色による運転者からの見え方の違いや、交通事故防止のために今日からできることをお知らせします。問い合わせは、地域交通課 (☎ 321-1231) へ。



実験しました 反射材や服の色で見え方が大きく変わる

上の2枚の写真は、和田橋交通公園で撮影したものです。どちらも約25m先にいる歩行者を自動車の下向きライトで照らしています。黒などの暗い色の服は、ライトが当たっても目立ちません。反射材と明るい色の服の組み合わせでは、歩行者の姿がはっきりと確認できます。



見え方の違いが動画で見られます

交通安全に取り組む県警職員に聞きました



上向きライトや反射材の活用を

高崎警察署交通課長 齋藤 充さん

歩行者の死亡事故の多くは、道路の横断中に発生しています。中には、上向きライトを使っていたら防げたものもあります。夜間の自動車の走行中は上向きライトを活用し、歩行者を早く発見することが事故の防止につながります。また、事故に遭った歩行者のほとんどは、反射材を着けていませんでした。夜間に外出するときは目立つよう、反射材や明るい色の服を着用してください。

市内では昨年、11人が交通事故で死亡しました。特に、車や人影が見えにくくなる夕暮れ時や夜間は、事故が多くなります。

車を運転するときは、早めのライト点灯をお願いします。暗くなってからの運転は、上向きライト(ハイビーム)が基本です。対向車や先行車などの状況に応じてライトを切り替えてください。歩行者や自転車の人は、反射材を着けたり、明るい色の服を着たりしてください。

車・歩行者・自転車のそれぞれができる対策を行って、交通事故を防止してください。

運転者へ

- 早めにライトを点灯する
- 上向きライトを基本とし、こまめに切り替える
- 横断歩道や交差点などは、慎重な運転を心がける

歩行者・自転車の人へ

- 反射材を着け、明るい色の服を着る
- 自転車は早めにライトを点灯し、歩行者はライトを持つ

